

橋本真之
Hashimoto Masayuki
ビル・ヘンソン
Bill Henson
胡 介鳴
Hu Jie Ming
マーク・フスティニアニ
Mark O. Justiniani
ラヴィ・マンドリク
Ravi Mandlik
アルウィン・レアミロ
Alwin V. Reamillo
バーナード・ザックス
Bernhard Sachs
作左部潮
Sakusabe Ushio
芝 章文
Shiba Akifumi
白川昌生
Shirakawa Yoshio
竹内義郎
Takeuchi Yoshio
牛島智子
Ushijima Tomoko
ジン=ミー・ユーン
Jin-me Yoon

洋

主催 ● 横浜市
横浜市民ギャラリー30周年記念展実行委員会
後援 ● インド大使館、オーストラリア大使館、カナダ大使館
中華人民共和国大使館、フィリピン大使館、国際交流基金
会期 ● 1995年3月12日(日)～3月31日(金)
午前10時～午後6時 無休 入場無料
会場 ● 横浜市民ギャラリー11・3階展示室
TEL 045-671-3721

上

人物情報が加速度的に
境界を越えていく
ボーダーレス社会において
異文化を背景とする美術はどのように
存在し機能していくのでしょうか
太平洋に面した横浜にその答えを探す
フラネタリウムを作ります

の

現代アート
アジア
太平洋の

宇

第30回
今日の
作家展

横浜市民ギャラリー30周年記念

宙

The 30th
'Artists Today' Exhibition
Yokohama
Citizens' Gallery
Asia-Pacific Universe:
Contemporary Art
from Australia,
Canada, China, India,
Japan, Philippines

1964年開館以来、横浜市民ギャラリーは現代を生きる美術家の表現活動とともに歩んできました。ギャラリーの歴史とともに回を重ねてきた「今日の作家」展も第30回を迎えました。今回は市民ギャラリーの30年を記念し、アジア・太平洋地域において、展開されている美術表現を御覧いただきます。人、物、情報が加速度的に境界を越えていくボーダーレス社会において、異文化を背景とする美術は、どのように存在し機能していくのでしょうか。太平洋に面した横浜で行われるこの展覧会が、その答えを探る一つの機会となれば幸いです。

※ 3月12日(日) 午後2時～4時 作家によるギャラリートーク(ギャラリー内・通訳付)

※ 3月21日(火) 午後1時30分～4時

フォーラム横浜会議室(ランドマーク・タワー13F 桜木町駅より徒歩5分)

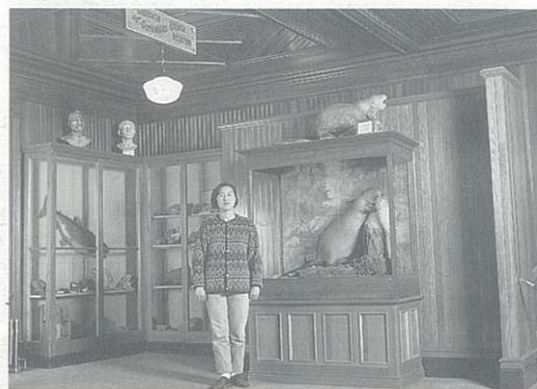
記念シンポジウム「アジア・太平洋の現代アート・状況と未来」同時通訳付
出演予定

小倉正史(美術ジャーナリスト)

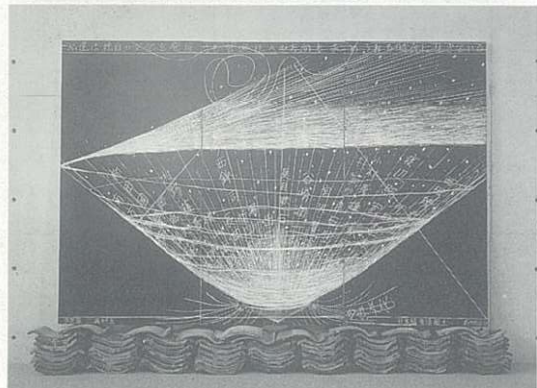
李 旭(上海美術館研究員、ブリズベントリエンナーレ'93企画調査員)

ジーン・シャーマン(シャーマンギャラリー代表)

白川昌生(アーティスト)

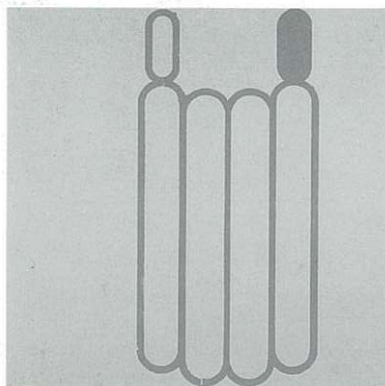


ジーン・シャーマン(カナダ)「自分自身の思い出」

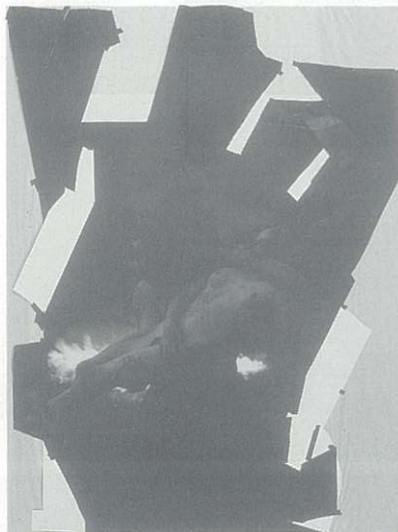


白川昌生 シリーズ「日本人ですか」1994年 撮影=山本糾

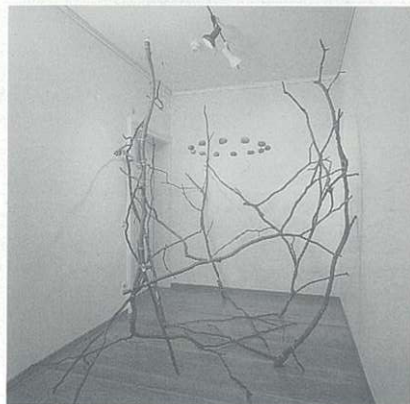
*写真は出品作品と必ずしも一致していません。



竹内義郎「93-9 無題」1993年 撮影=佐々木悦弘



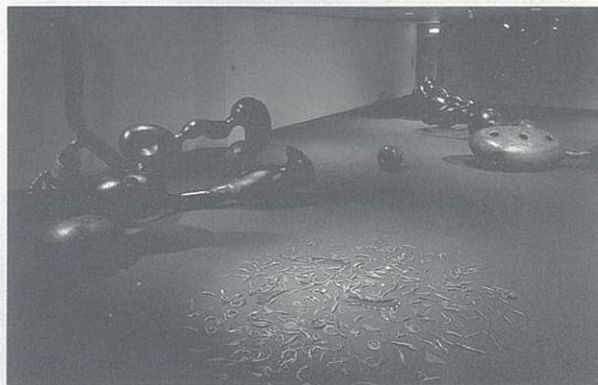
ビル・ヘンソン(オーストラリア)
「無題1992/'93」1992-93年



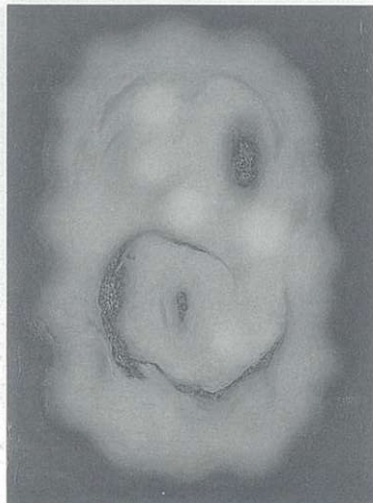
作左部潮「環領域'94-2」1994年 撮影=ウベ・グレイス



マーク・フスティニアニ(フィリピン)「小銭しかなくて」1994年



橋本真之「ガラス窓に集いてII」 撮影=高橋孝一



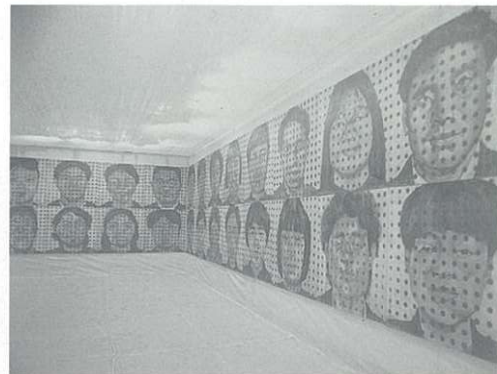
芝 章文「MAO-1590593」 撮影=末正真礼生



牛島智子「互換性」1994年
撮影=中川達彦



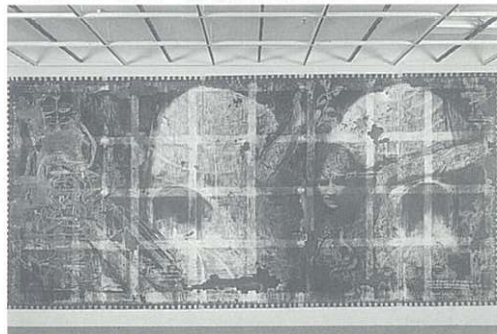
ラヴィ・マンドリク(インド)「無題」1994年



胡 介鳴(フージーミン・中国)「目撃ゲーム 94-1」1994年 撮影=倪炎



アルウィン・レアミロ(フィリピン)「3人の好ましからざる人物」1994年(部分)
J・レアとの共同製作 撮影=J・デベラ



バーナード・ザックス(オーストラリア)
「暗号の世界、又は都市のすべて」1992年 撮影=J・ファロウ